

宋

神秘のやきもの

Song Ceramics Utensils of Sublime Beauty

磁



青磁浮牡丹不遊環耳瓶 中国 南宋時代 龍泉窯



油滴白覆輪天目 中国 金時代 磁州窯系



青白磁獅子鈕蓋水注 中国 北宋時代 景德鎮窯



青白磁刻花唐草文梅瓶 中国 南宋時代～元時代 景德鎮窯

2019年

8月2日(金) ↓ 9月29日(日)

- ◎開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ◎休館日／毎週月曜日 ※8月12日、9月16日、9月23日は開館
- ◎入館料／一般700円、高・大生500円(団体10名以上、各2000円引)、中学生以下無料(ただし保護者の同伴が必要)
- ◎講演会／8月31日(土)午後2時～3時30分 会場 当館イベントホール
演題・日本人が愛した宋磁 後藤修氏(山口県立秋美術館・浦上記念館学芸課長)
- ◎予約・定員120名、聴講料800円(入館料込み)
- ◎列品解説／第2、第4日曜日 午前11時～午後2時
- ◎主催／出光佐三記念美術館、出光美術館、朝日新聞社
- ◎協賛／出光興産株式会社

出光美術館 門司
Idemitsu Museum of Arts, Moji

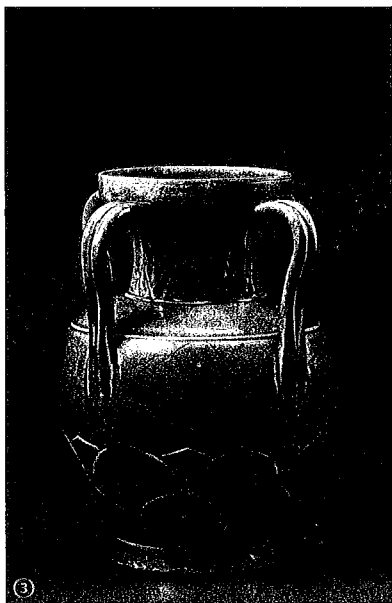
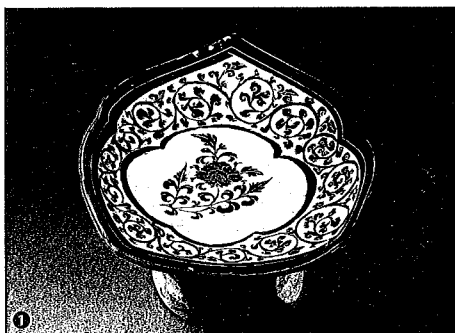
宋

神秘のやきもの

磁

Song Ceramics Utensils of Sublime Beauty

中国・宋代の陶磁器は宋磁と呼ばれ、陶磁史上、美の頂点に達したとも評されます。龍泉窯、景德鎮窯、定窯などは、青磁・白磁などの単色の釉薬や、シンプルかつ研ぎ澄まされたフォルムが美しく、その造形感覚は神秘的な雰囲気を感じさせます。一方で磁州窯、吉州窯など色彩に変化を凝らした絵付陶磁も生み出され、ユーモラスで活き活きとしたデザインを展開しています。また宋磁は日本では茶の湯のうつわとしても珍重されました。本展では、茶道具を含めた宋磁の世界をお楽しみいただきます。



① 白地黒描落牡丹唐草文枕 中国 北宋時代 磁州窯
② 青磁碗 中国 南宋時代 龍泉窯
③ 青磁刻花蓮花文四耳壺 中国 北宋 雍熙四年(987)銘 越州窯

※作品はいつでも出光美術館蔵

展覧会スケジュール [2019. 4-2020. 3]

「長谷川等伯と水墨画」

2019年4月5日[金]→6月2日[日]

墨の濃淡が画面に無限の奥行きと広がりをもたらす水墨画。中国を発祥とするこの斬新な絵画表現は日本にも伝播し、独自の表現美を獲得しました。この立役者として欠くことのできない画家が、日本独自の感性に基づく水墨表現を切りひらいた長谷川等伯です。本展では等伯の作品を中心に、日本・中国の名品を交え、伝統を基盤としながらも新たな風を興した創作の源に迫りつつ、その遺風を受け継いだ水墨画の多様なすがたに迫ります。

「琳派芸術」

2019年6月7日[金]→7月21日[日]

300年にわたる江戸時代の美術史を、華麗に彩った〈琳派〉の作家たち。17世紀はじめの京都で、本阿弥光悦や俵屋宗達によって導かれた優美で大胆な作風は、およそ100年の時を経て尾形光琳・乾山の兄弟へ、さらにその100年後に江戸の酒井抱一・鈴木其一の師弟へと受け継がれました。彼らは時空を隔てながらも、その関心はず洗練された装飾性に向けられています。本展ではその一貫した美意識を感じつつ、琳派芸術の世界を探索します。

「仙厓と禅の美」

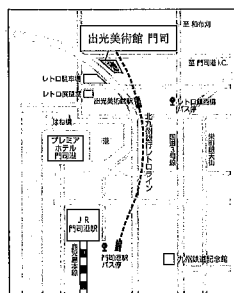
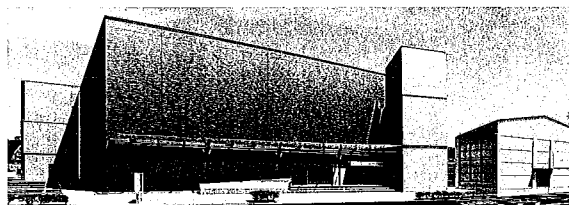
2019年10月11日[金]→12月15日[日]

仙厓義梵(1750-1837)は博多・聖福寺の第123世(および125世に再任)住持として活躍した後、虚白院に隠棲し、数多くの禅画を描いたことで知られる江戸時代後期の禅僧です。また、庶民と親しくふれあう中、彼らの生活がより実りあるものとなるように、様々なアドバイスを画賛の形で残していることでも有名です。本展では、「博多の仙厓さん」と慕われた仙厓が残した禅画や墨蹟を中心として、古唐津の優品とともに展覧いたします。

「古伊万里・鍋島の魅力」

2020年1月10日[金]→3月29日[日]

古伊万里と鍋島。このふたつは、どちらも権力者に愛顧されたやきものです。金襴手に代表される古伊万里は、元禄年間(1688-1704)ごろ完成し、瞬く間に日本中を席卷しました。その人気はとどまることを知らず、やがてヨーロッパの王侯貴族たちをも虜にします。一方、鍋島藩のもと肥前磁器の粋を結集して生まれた鍋島焼は、将軍家などへの献上品として焼かれた御用品です。しかし似て非なる古伊万里と鍋島。ふたつの様式の魅力に迫ります。



【交通】

JR門司港駅より徒歩8分
(門司港レトロ地区内、レトロ駐車場前)
「北九州銀行レトロライン」は土・日・祝日の運行
7/20~9/1は毎日運行

出光美術館 門司

〒801-0853 福岡県北九州市門司区東港町2-3

※お車でお越しの際は、周辺の駐車場をご利用ください

【TEL】093-332-0251

【開館時間】午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

【休館日】毎週月曜日(ただし月曜日が祝日および振替休日の場合は開館)年末年始および展示替期間

【入館料】一般700円/高・大生500円(団体10名以上、各200円引)中学生以下無料(ただし保護者の同伴が必要)

※障害者手帳をお持ちの方は200円引、その介護者1名は無料
※〈出光創業史料室〉のみのご利用は、一般100円/中学生以下無料

【URL】<http://s-idemitsu-mm.or.jp/>

Idemitsu Museum of Arts, Moji

2-3, Higashi-minatomachi, Moji-ku, Kitakyūshū-shi, Fukuoka, 801-0853

【TEL】093-332-0251

【Open】10:00a.m.-5:00p.m.(Entrance Until 4:30p.m.)

【Closed】Monday (The museum will be open when Monday is a national holiday.), the year-end and New Year's holidays, and for change of exhibits.

【Admission】

Adults ¥700/High School & University Students ¥500 (Groups <10 or more> ¥200 Discount)

*¥200 Discount for Persons with Disability (with Presentation of the Physical Disability Certificate and Free Admission for 1 Caretaker).

【URL】<http://s-idemitsu-mm.or.jp/>

開催中